

栃木県医療安全講習会～最善の医療を選択するために必要なこと～

「病院でよりよい医療を受けるためにはどうすればよいか」という悩みを解消できるよう講演会を開催します。

- 日 時 12月2日(金)午後1時30分～3時30分
- 場 所 栃木県総合文化センター特別会議室
- 講 師 尾藤誠司氏(独立行政法人国立病院機構 東京医療センター 内科 医長)
- 参加費 無料
- 定 員 60名
- 申込み・問合せ 栃木県医療政策課 ☎028-623-3085

11月12日～25日は 「女性に対する暴力をなくす運動」期間です

配偶者やパートナーからの暴力や性犯罪等の女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害し、いかなる理由があろうとも許されるものではありません。

暴力のない男女平等社会の実現に向け多くの方が関心を持ち、悩んでいる方は一人で抱え込まずに相談してください。

▼相談窓口

○性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター

☎#8891

○DV相談ナビダイヤル

☎#8008

○DV相談+ (プラス)

☎0120-279-889

▼問合せ こども未来課こども政策係 ☎726959

DV相談+



チャット相談
(正午～午後10時)

バランスアップ食育講座の参加者を募集します

食べることで健康を体感し、自分や家族、さらには地域の健康づくりを考えるきっかけとして、食生活改善推進員による講座を開催します。

【食生活改善推進員とは】

「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに、食生活を中心とした健康づくりを地域の方々とともに取り組む全国的なボランティア団体です。男性会員も活躍しています。

▼日 程 11月29日(火)、12月8日

(木)、12月15日(木)、1月12日(木)、1月26日(木)

▼時 間 午前9時30分～午後2時30分

※12月15日のみ午前9時30分～午後3時30分

▼場 所 文化センター

▼内 容 食育・運動・口腔などの講話、調理実習

▼料 金 1,300円(テキスト代)

▼申込み・問合せ 保健センター ☎725858

「子宮頸がん予防接種」 自費接種分の費用を 助成します



① 求書(様式第1号)

② 接種費用の支払いを証明する書類(領収書および明細書、支払証明書等)の原本

③ 接種記録が確認できる記録(母子健康手帳、予防接種済証または接種済の記載がある予診票等)の写し

④ 振込先が確認できるもの(通帳等)

▼申請期限 令和7年3月31日

▼注意事項
・申請先は令和4年4月1日時点で住所を有する市区町村です。

・必要書類②がない方は、申請年度の基準単価を助成します。

・必要書類③がない方は、ヒトパピローマウイルス感染症に係る任意接種助成申請用証明書(様式第2号)を医療機関で記入してもらい添付してください。その際の文書作成料は自己負担になります。

・様式第1号および様式第2号は町ホームページからダウンロードするか、保健センター窓口にあります。

※平成9年4月2日以降生まれの女性で3回接種が済んでいない方は、令和7年3月31日まで、不足分を定期接種(公費)として接種できます。(4月に対象の方へ通知しています)

▼申請先・問合せ 保健センター ☎725858

子宮頸がん定期予防接種は、平成25年6月から令和4年3月31日まで積極的勧奨が差し控えられていたことから、この間、定期接種の機会を逃した方がいます。定期接種の対象年齢を過ぎて自費で接種した方の費用を基準額内で助成します。

▼対 象 平成9年4月2日～平成17年4月1日生まれ的女性で、次の全てに該当する方

- ・令和4年4月1日時点で町内に住所を有する方
- ・高校2年生相当の4月1日～令和4年3月31日に自費で接種した方
- ・国内の医療機関で2価または4価ワクチンを受けた方
- ・他の地区町村で当該助成を受けていない方

▼必要書類

① ヒトパピローマウイルス感染症に係る任意接種助成申請書兼請